

第37期

ビジネスレポート

平成20年4月1日～平成21年3月31日



 ワイエイシー株式会社

東証1部 証券コード:6298



株主の皆様へ 2

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結) 3

トピックス 4~5

主力製品の紹介 6~7

営業状況 8

連結財務諸表 9~10

会社概要 11

株主メモ 裏表紙



代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第37期のビジネスレポートをお届けするにあたり、日頃のご理解とご支援に対し心より厚く御礼申し上げます。

当期における我が国経済は、年度前半は原油や原材料価格の高騰に伴うコスト増により企業収益は圧迫され、年度後半は米国発の世界的な金融危機による急激な円高と個人消費の冷え込み等により、景気は急速に悪化いたしました。

このような環境下において、当社グループでは原価の低減・諸経費の削減等企業努力を行なってきましたが、設備投資の減少・凍結の影響により、大幅な減収減益となりました。

この結果、当社グループの売上高は126億28百万円(前年同期比40.4%減)、営業利益は2億55百万円(同88.9%減)、経常利益は4億30百万円(同81.9%減)、当期利益は5億10百万円(同66.5%減)となりました。

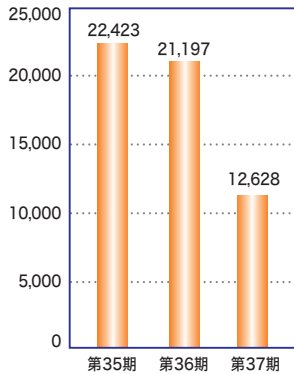
このような厳しい状況の中、当グループは研究開発型企業としてハイテク関連事業、環境関連事業への資源の集中を図り、世界的な環境ビジネスへの関心の高まりに着目し、「環境にやさしい装置」をテーマに「省エネ製品」、「太陽電池関連装置」、「省電力で有害物を使わないランプ」の開発に積極的に取り組むとともに、更なる経営・事業コストの削減を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

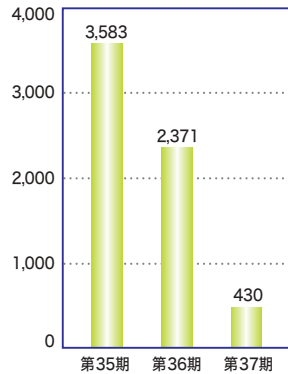
平成21年6月

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結)

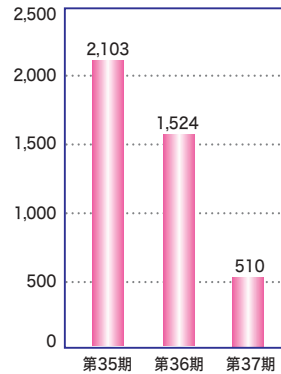
売上高 (単位:百万円)



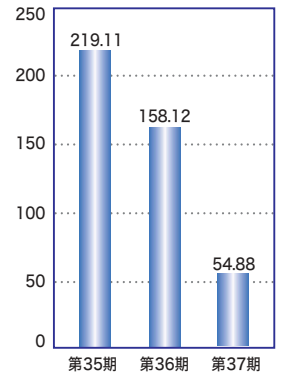
経常利益 (単位:百万円)



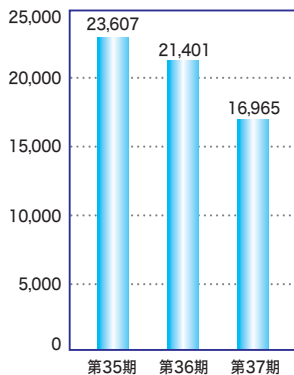
当期純利益 (単位:百万円)



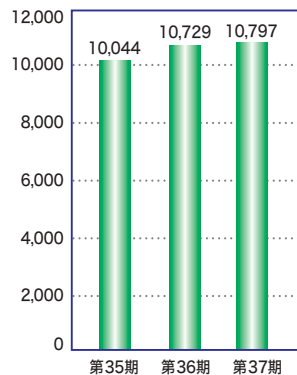
1株当たり当期純利益 (単位:円)



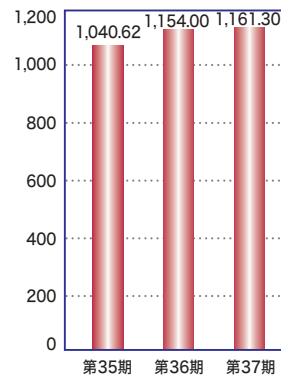
総資産 (単位:百万円)



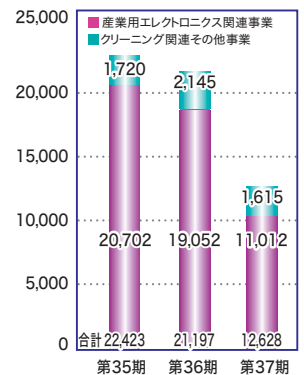
純資産 (単位:百万円)



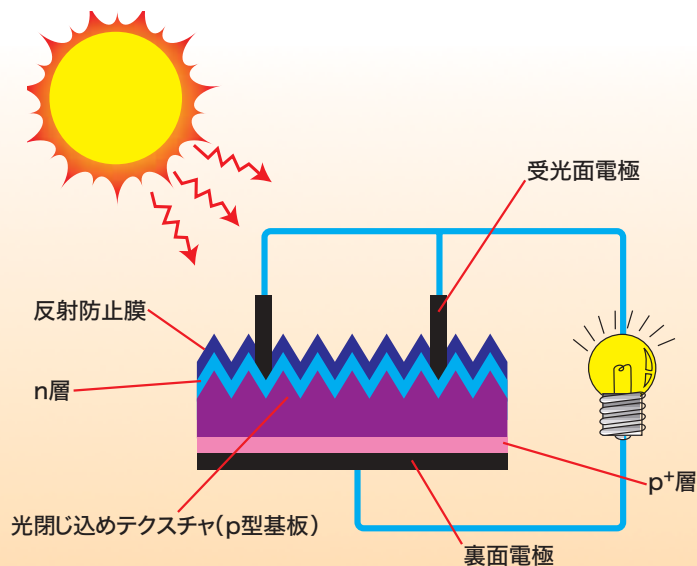
1株当たり純資産 (単位:円)



部門別売上高 (単位:百万円)



結晶系シリコン太陽電池製造装置の製造販売事業を開始



結晶系シリコン太陽電池の構造

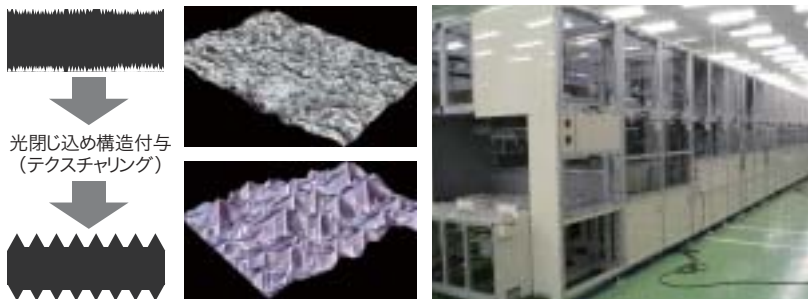
本年5月に結晶系シリコン太陽電池製造装置の製造販売事業をエス・イー・エス株式会社(5月1日、破産手続き開始)から継承し、太陽電池事業部を発足させました。

ご存知のように太陽光発電は、太陽光を直接、電力に変換するためCO₂を発生しません。そのため太陽光発電システム自体を製造するために排出したCO₂は2～3年で相殺することができ、システムの寿命(25年程度)のなかで生み出すエネルギーは環境に負荷を与えません。

太陽電池事業では、シリコンウェーハを出発とした結晶系シリコン太陽電池の性能を決定する重要な光閉じ込め構造付与工程(テクスチャリング工程)を自社プロセスとして構築し、自社ブランドの製造装置として提供することを足がかりに事業展開を推し進めてまいります。

クリーンエネルギーを産み出しグリーン技術の中心である太陽光発電は、巨大エネルギー産業への成長が見込まれ、技術開発や雇用創出、そして製造装置ビジネスの発展が期待されており、この世界的要求にお応えしていく所存です。

光閉じ込め構造付与工程(テクスチャリング工程)



シリコンウェーハへの光閉じ込め構造付与は、薬液を用いたエッチング法(溶かし削って構造を形成する技術)を用いて、写真のような装置で量産します。

FEL(平面発光ランプ)用薄膜製造販売の事業化推進



FEL(Field Emission Lamp:平面発光ランプ)は、省エネルギー・省資源・脱有害物質(水銀・鉛レス)の特徴を持った地球環境にやさしい次世代照明として期待されているものであります。

これまで製造装置の製造・販売を主に行ってまいりましたが、FEL用薄膜を扱うことにより、初めて素材産業に参入することになります。

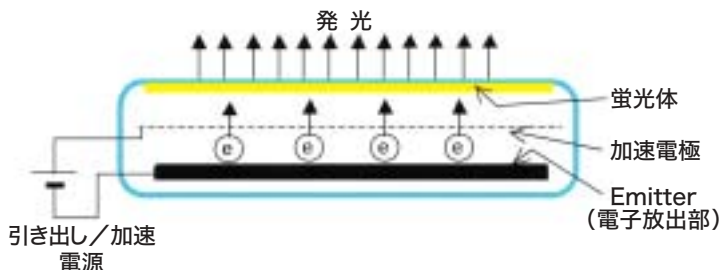
平成19年5月に、FEL用薄膜の製造販売を目指している株式会社NDマテリアル(高知県)に資本参加し、平成20年4月にはFEL事業部を新設いたしました。

現在は、商品化に向けた試作、品質改良をおこなっている段階であります。引き続きFEL関連の事業化に向けた展開を推進してまいります。

FELとは?

Field Emission Lamp

電界放出により発生した電子を
蛍光体へ照射し、発光を得るランプ



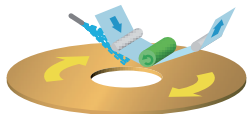
特徴

- ①従来の蛍光灯と異なり、水銀・鉛等の有害物質を使用しない。
- ②LED(発光ダイオード)に比べ発光効率が高く省エネ効果がある。
- ③蛍光灯に比べ長寿命である。
- ④蛍光灯、LEDに比べ発熱量が少ない。
- ⑤色合成の自由度が高い。

主力製品の紹介

ハードディスク関連商品 ハードディスク「メディア工程」

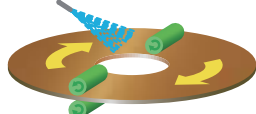
テクスチャー工程



基板に下地層形成後磁性膜の特性を良くするために研磨液と研磨テープを用いて表面を研磨します。

当社製品 テクスチャー装置/テクスチャー用テープ

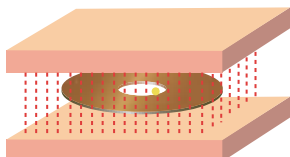
洗浄工程



洗浄液で表面を洗浄します。

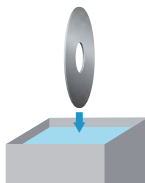
当社製品 移載機/クリーンコンベア

スパッタリング工程



表面に磁性膜・保護膜を生成します。

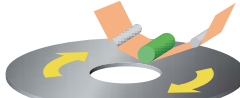
ルブ・ベイク工程



表面に潤滑剤を塗布します。

当社製品 移載機/クリーンコンベア

バニッシュ工程

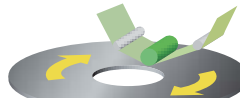


研磨テープを用いて表面の突起を除去します。

当社製品 バニッシャー/バニッシング用テープ

当社製品 移載機/クリーンコンベア

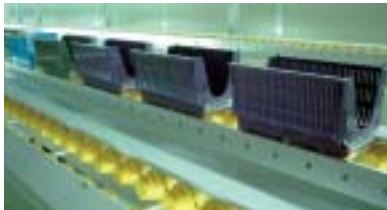
ワイピング工程



クリーニングテープを用いて表面をクリーニングします。

当社製品 ワイピングテープ

クリーンコンベア(HD工場向け)

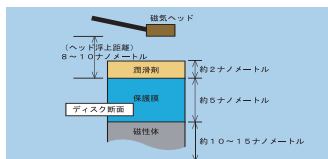


モジュールの組み合わせで自由な搬送ライン設計が可能なローラー式コンベアAGV(自走型搬送ロボット)やOHT(天井架設型搬送装置)に比べ、搬送物をいつでも搬送ラインに投入することができ、搬送効率が高い。

バニッシャー



ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、表面のナノオーダーの微小突起を除去する精密研磨装置。



半導体関連商品



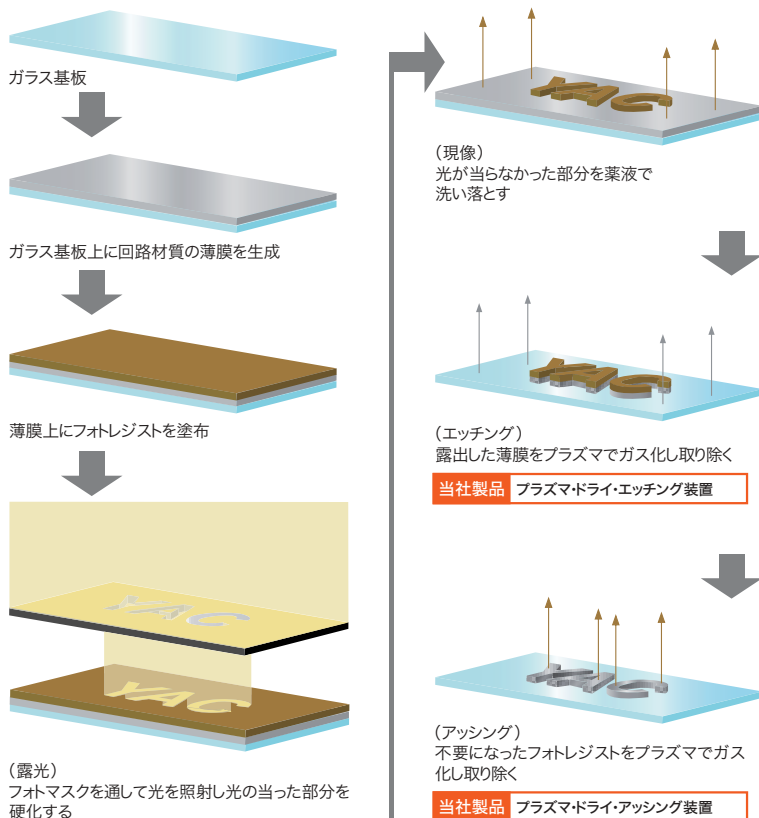
ロジック系IC用ICテストハンドラー

ICのパッケージング後の検査工程で、テスターと接続して使用し、テスターからのテスト結果信号に基づき、ICを良品と不良品に自動選別する装置。必要に応じて、精度の高い高温・低温(-55°C~155°C)下でのテストも行う。

※写真上は4個同時測定・常温タイプ

※写真下は16個同時測定・常/高温タイプ(新製品)

液晶関連商品 液晶パネル製造「アレイ工程」



※上記の工程を何度か繰り返し、回路が完成します。

プラズマドライ・エッチング装置



液晶ディスプレイの各セルの液晶整列方向を個々に制御する微小トランジスターをガラス基板上に描画するプロセスで用いる。フォトマスクを通して露光した結果、硬化した部分以外を除去後、露出した薄膜をプラズマを利用してガス化し除去する装置。

クリーニング関連商品



シャツ用ボディスリーブプレス機

シャツを前後から熱板ではさみシャツのボディ部と袖部をプレスする装置。胴立を2つもち、プレス中に次のシャツを装填できるダブルタイプと、胴立がひとつのシングルタイプがある。
※写真はダブルタイプ



包装機

クリーニング完了後の衣類にカバーフィルムを自動で装填する装置。
ハンガーのままカバーする立体タイプとたたんだ状態でカバーする平面タイプがある。
※写真は立体タイプ

■事業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、サブプライム問題を契機とする米国経済の減速と昨年秋以降は米国大手投資銀行の破綻に端を発した世界的な金融市場混乱の影響を受け、急激な為替円高、株価下落、企業の生産減、設備投資の抑制、さらには雇用情勢の悪化など、急速に景気が悪化する展開となりました。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、原価の低減・諸経費の削減等企業努力をしておりますが、企業の在庫調整・生産設備への投資の減少・凍結に伴い、売上高および営業利益の大幅な減少となりました。

セグメント別の状況は次の通りです。

A.産業用エレクトロニクス関連事業

産業用エレクトロニクス関連事業につきましては、顧客企業の生産調整、生産拠点の再編成等による設備投資の減少・凍結に伴い、売上高および営業利益とも前連結会計年度に比べ大幅に減少いたしました。この結果、産業用エレクトロニクス関連事業の売上高は、110億12百万円(前年同期比42.2%減)、営業利益は、7億58百万円(同70.6%減)となりました。

B.クリーニング関連その他事業

クリーニング関連その他事業につきましては、省エネ、クリーン環境新製品の投入をいたしました但しクリーニング需要の後退により、顧客企業の設備投資が減少し、売上高および営業利益とも前連結会計年度に比べ減少いたしました。

この結果、クリーニング関連その他の売上高は、16億15百万円(前年同期比24.7%減)、営業利益は、81百万円(同72.1%減)となりました。

■対処すべき課題

当社の主な対象分野である産業用エレクトロニクス関連事業におきましては、全世界的な不況の中で、メモリーディスク関連、半

導体関連、液晶関連のいずれの分野においても、設備投資が低迷しており、厳しい受注環境にあります。一方で、米国ではグリーンニューディール政策を打ち出すなど、太陽電池をはじめとした環境関連ビジネスが世界的に脚光を浴びております。

こうした状況において、当社グループ(当社および連結子会社)は、環境にやさしい機械をテーマとして事業に取り組み、当社グループが培ってきたオンリーワン技術をさらに発展させ、クリーンエネルギーに対しても付加価値の高い製品の開発及び関連事業の拡大を図り経営基盤の拡充に努めております。

具体的には以下の課題に対処しております。

①研究開発の拡充

産業用エレクトロニクス分野では、太陽電池関連の周辺機器へ積極的な取組を実施するとともに、クリーニング関連分野においても、省エネルギー機械の開発を推進しております。

②新規事業への取組

クリーンエネルギー事業への新規取組として、平成21年5月に太陽電池事業の譲渡を受け、新たに太陽電池事業部を設立し、当事業の柱として事業拡大を図っております。

③生産体制の再構築

常に変化する経営環境、顧客ニーズに対応するために、外部協力会社との生産体制の連携を密に取り、その都度生産体制の見直しを図っております。また、将来的には海外顧客に対応するため、現地での部品の調達、生産を考慮した体制の見直しを図っております。

④財務体質の強化

財務体質改善のため遊休資産の処分、有利子負債の縮小等に今後も努めてまいります。本来の事業における期間利益の創出を基本とし、より安定した事業経営と業務拡大に努めてまいります。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	
	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
【資産の部】		
流 動 資 産	13,607	18,235
現金及び預金	5,351	4,625
受取手形及び売掛金	4,647	9,217
たな卸資産	2,994	4,152
繰延税金資産	176	182
その他	438	67
貸倒引当金	0	△9
固 定 資 産	3,357	3,165
有形固定資産	2,842	2,827
建物及び構築物	496	546
機械装置及び運搬具	13	16
工具器具及び備品	252	222
土地	2,042	2,042
その他	37	-
無形固定資産	88	99
のれん	76	87
その他	12	12
投資その他の資産	426	238
投資有価証券	150	187
繰延税金資産	229	-
長期滞留債権等	40	34
その他	56	71
貸倒引当金	△50	△54
資 産 合 計	16,965	21,401

(単位:百万円)

科目	期別	
	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
【負債の部】		
流 動 負 債	3,513	8,499
支払手形及び買掛金	2,443	4,133
短期借入金	611	3,346
1年以内償還予定社債	-	300
未払法人税等	38	264
未払費用	259	227
賞与引当金	87	109
その他	74	118
固 定 負 債	2,654	2,172
社 債	1,000	700
長期借入金	1,128	921
繰延税金負債	75	124
退職給付引当金	419	426
その他	30	-
負 債 合 計	6,167	10,672
【純資産の部】		
株 主 資 本	10,960	10,729
資 本 金	2,756	2,756
資 本 剰 余 金	3,582	3,582
利 益 剰 余 金	4,997	4,766
自 己 株 式	△376	△376
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△163	0
その他有価証券評価差額金	2	17
為替換算調整勘定	△166	△17
純 資 産 合 計	10,797	10,729
負 債 純 資 産 合 計	16,965	21,401

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日
売上高		12,628	21,197
売上原価		10,224	16,693
売上総利益		2,403	4,503
営業利益		255	2,295
営業外収益		243	168
営業外費用		69	92
経常利益		430	2,371
特別利益		10	6
特別損失		28	2
税金等調整前当期純利益		412	2,374
法人税、住民税及び事業税		152	791
法人税等調整額		△250	59
当期純利益		510	1,524

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,568	△2,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		△11	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,814	2,582
現金及び現金同等物に係る換算差額		△19	△167
現金及び現金同等物の増減額		723	△714
現金及び現金同等物の期首残高		4,621	5,335
現金及び現金同等物の期末残高		5,344	4,621

連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	2,756	3,582	4,766	△376	10,729	17	△17	0	10,729
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当	-	-	△278	-	△278	-	-	-	△278
当期純利益	-	-	510	-	510	-	-	-	510
自己株式の取得	-	-	-	0	0	-	-	-	0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△14	△148	△163	△163
連結会計年度中の変動額合計	-	-	231	0	231	△14	△148	△163	67
平成21年3月31日残高	2,756	3,582	4,997	△376	10,960	2	△166	△163	10,797

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 会社の概要 (平成21年6月26日現在)

商号	ワイエイシー株式会社
英文表示	Y.A.C.CO.,LTD.
本社	東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
設立	昭和48年5月11日
資本金	2,756百万円
役員・執行役員	代表取締役社長 百瀬 武文 常務取締役 佐藤 康男 常務取締役執行役員 伊藤 利彦 常務取締役 宮本 忠泰 取締役執行役員 和田 貢 取締役執行役員 大福 芳弘 取締役執行役員 副島 幸雄 常勤監査役 御幡 公夫 監査役 勝間田 武司 監査役 市原 聖功 執行役員 西原 宗久 執行役員 曾根田 栄悦
従業員数	167名(出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)
事業内容	次あげる自動機械の設計・製造・販売ならびに装置開発を行っております。 ●産業用エレクトロニクス関連事業 液晶向プラズマドライエッチング装置/ロジックハンドラー/ 熱処理炉/ハードディスク用各種精密研磨装置/ ハイクリーンコンベアシステム/平面発光ランプエミッター/ 太陽電池製造装置 ●クリーニング関連その他事業 包装機/立体包装機/シャツ・ウール用プレス機/ 全自動立体分配システム
主要取引銀行	株式会社りそな銀行 立川支店 株式会社みずほ銀行 立川支店 株式会社三井住友銀行 昭島支店 株式会社三菱東京UFJ銀行 立川支店
会計監査人	新日本有限責任監査法人

■ 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

1.会社が発行する株式の総数	34,388,000株	
2.発行済株式の総数	9,674,587株	
3.当期末現在の株主数	6,467名	
個人・その他(注1)	6,324名	7,787,390株
法人	64名	142,600株
金融機関	24名	1,208,600株
証券会社	31名	100,211株
外国法人等	24名	435,786株

4.大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株) ^(注2)	出資比率(%)
百瀬 武文	1,491	15.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	379	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	323	3.3
ピービーエイチフォーファイティロープライスストックファンド	200	2.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	153	1.5
杉山 元	82	0.8
エイエスピーシーバンクビーエルシーライオンツノックスストーリー	62	0.6
東京海上日動火災保険株式会社	61	0.6
御幡 公夫	55	0.5
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	54	0.5

(注1)従業員・自社名義株式を含みます。(注2)株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■ ネットワーク (平成21年6月26日現在)

名称	所在地
本社・本社工場	東京都昭島市
テクニカルセンター	東京都昭島市
昭島第二工場	東京都昭島市
プラズマシステム山梨工場	山梨県南アルプス市
半導体事業部	熊本県菊池郡
太陽電池事業部大分工場	大分県大分市
大阪営業所	大阪府堺市
ワイエイシー新潟精機株式会社	新潟県妙高市
HYAC Corporation	米国カリフォルニア州
YAC Systems Singapore Pte Ltd	シンガポール
日商 微艾新股份有限公司 台湾分公司	台湾
日本微艾新株式会社上海代表处	上海

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月中
株主確定基準日	3月31日、その他必要ある場合にあらかじめ広告する一定の日
公告の方法	当社ホームページに掲載(http://www.yac.co.jp) (やむを得ない事由が発生した場合は日本経済新聞に掲載)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-7111(フリーダイヤル)
1単元の株式の数	100株

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座がある証券会社にお申出ください。

なお証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。



〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL(042)546-1161(代表) FAX(042)546-1107
URL <http://www.yac.co.jp>